

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長	平成 26年 7月 23日
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市南区吉祥院石原上川原町1-2	報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) 京都生活協同組合 専務理事 畑 忠男

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001(2014年3月21日に認証を返上) 2014年10月にKESステップ2SRを取得予定
適用範囲	洛北支部 他9支部 コープ下鴨 他17店舗 福祉事業部 葬祭事業部(クオレ案内センター) 本部事務所
導入年月日	2002年 3月 22日
認証番号	JQA-EM2281(2014年3月21日に認証を返上)
基本方針	<p>1、当生協の事業活動、商品及びサービスに係る「持続可能な社会の実現への貢献を最大化」することを常に意識し、SR活動の向上並びに環境汚染の予防を推進するとともに、SR・環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。</p> <p>2、当生協の事業活動、商品及びサービスに係るSR・環境マネジメント活動に関して適用される法的及びその他の受け入れを決めた要求事項を順守します。</p> <p>3、当生協の事業活動、商品及びサービスに係るSR・環境影響のうち、以下の項目をSR・環境管理重要テーマとして取り組みます。</p> <p>(1) 地球温暖化防止対策として、CO2排出削減のためにエネルギー使用量削減と再生可能エネルギーの活用に取り組みます。</p> <p>(2) 環境に配慮した商品の取り扱いと普及をすすめます。</p> <p>(3) 廃棄物の発生抑制、再資源化をすすめます。</p> <p>(4) 資源や資材の有効活用をすすめるとともに、環境に配慮した資材の購入をすすめます。</p> <p>(5) 地域社会の要望にもついで施設見学や研修等の受け入れや、学習会の実施に取り組みます。</p> <p>4、一人ひとりがSR活動の向上、及び環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、このSR・環境方針を全役員に周知するとともに、一般の人々が入手できるようにします。</p> <p>5、組合員によるSR・環境改善活動に積極的に取り組むとともに、日々の消費のあり方が持続可能な社会の実現に多大な影響を及ぼすことへの自覚を広げます。あわせて、地域のSR・環境改善活動にも積極的に参加します。</p>
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<p>1、キープ28の順守、リニューアル店舗での省エネ機器の導入、ファイナルゲートによる省エネチューニングの継続</p> <p>2、日生協啓発パンフの職員配布、実績把握システムの構築</p> <p>3、適切な分別及び排出手順の確立と見直し、作業員への環境教育実施及び手順の教育実施、廃棄ロス削減のための適正在庫維持</p> <p>4、紙バック、紙パック、食品トレー宅配カタログ・チラシ、PETボトルについて組合員への回収呼びかけ</p> <p>5、組合員への店内放送での呼びかけ、機関紙・店内での回収量の報告、CSRレポートでの回収量の公表</p>
目標を達成するための取組の内容	<p>1、4月度前年比101.0%、6月に1店舗閉店</p> <p>3、4月度47.2%</p> <p>4、4月度98.8%</p> <p>5、4月度94.3%</p>
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>1、B</p> <p>2、評価無し</p> <p>3、A</p> <p>4、B</p> <p>5、A</p>
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>省エネルギー(CO2)</p> <p>CO2排出量は、11年比91.0%と大きく削減。</p> <p>建替え、リニューアル店舗は、前年比70~75%で推移。</p> <p>既存店についても91.6%の削減状況。</p>
事業活動に係る法令の遵守の状況	<p>関連法規の遵守状況について、上部団体(日本生協連)からの情報をもとに確認を行なっている。各事業所での順守状況については、年1回確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった</p>
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>ISO9001に準拠した業務マネジメントシステムの稼働に伴い、10年度より業務マネジメントシステムへ文書類の統合を行った。文書類については年1回見直しを行うこととしている。</p>

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。